

交通安全教室 ～ルール・マナーを守って自他の命を大切に！～

5月9日に小郡自動車学校をお借りして、1年生を対象にした交通安全教室を開催しました。2時間の交通安全教室では、まず、日常に潜む交通事故の危険性や自転車事故の事例等についてスライドを



通して学習し、次に、一本橋走行やスラローム、左右確認、信号の判断訓練や踏切横断の仕方などの実技講習を行いました。また、横断の判断テストをするために、自動車学校の職員の方が自転車に乗り、実際に車も運転され、どのタイミングで危険なく道を横断できるかなどを考える場を設定されて、分かりやすく指導をしていただきました。改めて、交通ルールやマナーを守らなければいけないということが再確認できた講習会となりました。

一本橋走行(技能講習)

高額賠償の例では、小5の少年が乗った自転車と歩行者との衝突事故をめぐる損害賠償訴訟で、神戸地裁が少年の保護者に約9500万円という賠償を命じるというケースもありました。**マナーを守らない事故につながる危険性が増し、被害者になるだけでなく、このように加害者にもなりえます。**事故にあつてからは取り返しがつきません。まずは、自分の命は自分で守るよう心がけたいものです。今後もマナーアップに向けて継続的に指導をしてまいります。どうか御家庭でも、お子様の**かけがえのない命を守るため**ですから、今一度自転車の乗り方についてきつく御指導をお願いいたします。

暴力団排除教室 ～暴力団犯罪から青少年を守る～

5月7日に全校生徒を対象に、暴力団排除教室を開催しました。福岡県警察本部から講師をお招きし、暴力団の実態や被害、近くで実際に起きた事件などについてお話をうかがいました。全国に21ある指定暴力団のうち、5つが福岡県にあり、日本最大の山口組の下部組織も存在していること、さらにそのうち2つの指定暴力団が筑後地区にあるという現状をお話いただきました。また、犯罪に手を染めた組員が暴力団から脱退したがっている事例を示し、「暴力団は決してカッコイイものではなく、入ってしまったら最後、地獄のようなものだ」と強調されました。さらに、「暴力団は映画などが美化するイメージと違い、犯罪行為をする反社会的集団であって関わったら不幸になる。ささいなことでも警察に相談して」と訴えられました。特に、近年、予想以上に私たちの身近に暴力団の恐怖・影響が及んできている現実を知らされました。また、暴力団がどのようにして金を集めるかという上納金の仕組みのこと、薬物(大麻、覚せい剤、シンナー、MDMA、脱法ハーブ)の売買のこと、女性を監禁して援助交際をさせている実態などを話されました。知らないうちに未成年が、そうした暴力団とのつながりを持ってしまい、とりかえしのつかない大きな被害にあう構造がよく分かりました。また、何度も「暴力団にとって少年、



少女は絶好のターゲット」であること、「断る勇気をもつこと」の大切さを繰り返し話されました。

最後に、暴力団犯罪を避ける注意点として、**(1)お金を簡単に稼げるなどの無責任な誘いに乗らないこと、(2)万引き、飲酒、喫煙、暴走行為などの非行に走らないこと、(3)ネットに個人情報を掲載しないこと(暴力団はネットの中でターゲットを狙っている)**の三つを挙げられました。

受講後の感想として、1年生のある男子生徒は「自分たちが知らないだけで、私たちの身の周りに沢山の暴力団組織があることを初めて知った。暴力団の怖さが分かったので、暴力団に誘われたら、しっかりと断る勇気を持ちたい」と話してくれました。

ケータイマナー教室 ～安心・安全な利用について考える～

5月2日に、LINE 株式会社の方をお招きし、全校生徒を対象にケータイマナー教室を開催しました。

ネットにつながってしまえば、個人情報は世界中の人が見ることができ、また、一度載せたら拡散し削除できないため、一度立ち止まって慎重に考えなければならぬこと(個人情報の不用意な公開、不適切な書き込み)を事例を通して考えました。特に、ネットでのコミュニケーションは、顔が見えないため、受け止め方はそれぞれで、自分の書き込みが思いがけず相手を傷つけることもあることなどを、具体的な事例を通して学び

ました。また、中学生の多くが利用している LINE やフェイスブックをはじめとするコミュニケーションアプリにおけるトラブルを、「あなただったらどう思う? どれを選ぶ?」と、自分のこととして考え、意見交流を通して学びを深めました。今の子どもたちの課題となるところ(発信者が誰なのか、更新された時間帯、文章の内容に関することなど)を中心に講話をいただきました。大原中学校生徒会宣言と共に御家庭でもぜひ話題にしていきたいと思

携帯・スマホ・SNSに関する私たちの実態!
(アンケートより)

- 携帯・スマホ・SNS(以下「ネット」)で人のやりとりをしたことがありますか? **ある ⇒ 265人/366人**
- ネットでのやりとりが気になって勉強が手につかなくなったことがありますか? **ある ⇒ 118人/366人**
- ネットで悪口を書かれて嫌な思いをしたことがありますか? **ある ⇒ 58人/366人**
- (ネットを利用している人) ネットの使い方についてのルールを家庭で決めて守っていますか? **守れている ⇒ 90人/208人**
- (ネットを利用している人) ネットの利用について、家庭でルールがあった方が良いと思いますか? **思う ⇒ 149人/208人**
- 「ネットを日頃頻りに使っていますか?」「誰かまで嫌まで利用していますか?」の質問に対しては、学年が上がると長く、避ける傾向にある。**3年生の平均⇒(何時間?)11:25(何時間?)14.5時間**
- ネットが学習などの妨げになり、困っている人がいる。
- ネットを利用している人たちの家庭に入ると、嫌な思いをしたり、友人関係が悪くなった人たちがいる。

このままでは!?

- 「ながらスマホ」や「個人情報の流出」等のマナー違反が増え、周囲に悪影響を及ぼしてしまふ。
- 社会にあふれる多くのトラブル等に巻き込まれ、危険な思いをする可能性がある。
- 学習を第一に考えるべき時間に、ネットのことが気になり、私たちの大切な進路実現の妨げになる。
- ネット上でのコミュニケーションが増え、「ことば」やふれ合いによる真の繋がりが希薄になる。
- 「個人情報の流出」や「ことばの使い方が悪くなる」ことで、**友だちとの繋がりが壊れつづき留められる恐れがある。**

平日1日時間以上の使用と夜10時以降のやりとりはしません!

名前や写真、人を傷つけるような内容を勝手にネット上に掲載しません!

全ての人と暖かく絡むために「ことば」を大切に扱います!

家族や友達と協力して、私たちが自身のためにこの宣言を守ります!

2016 4 28

ネットマナー宣言